

件名	令和5年度 福井市障がい者自立支援協議会 第4回 居宅生活支援部会 議事録		
日時	令和6年 2月8日(木) 10:00～11:00	会場	福井市市役所別館14C
欠席者	地域活動センター中村氏 代理：オンライン参加：吉田氏		
傍聴者	4名：高田氏(市議) 橋本氏(デューン福井)		
会議次第	1. 開会 2. 報告事項 今年度の取り組み内容について 資料1 3. 協議事項 来年度の取り組み内容について 資料2-1・資料2-2 4. 閉会		
報告	1. 開会挨拶 【部会長】新年から大変な幕開けとなった。地震や飛行機事故と胸を痛めることがあった。福祉は何が出来るのだろうかを考えた1ヶ月であった。来年度に向けた積極的な意見を聞きたい。 2. 報告事項 今年度の取り組み内容について : 資料1 【黒田氏】居宅生活支援部会における令和5年度の取り組み内容：成果及び結果を説明 ①12月20日東部民児協会定例会で研修開催→障がい者がどこでどのように生活しているか、どのように接したらよいかの周知を行った。 3月21日北部民児協定例会にて研修予定。 来年度の取り組みとしては、南部民児協と西部民児協への研修を企画したい。 ②障がい福祉人材不足については来年度WGを選定し、協議を行っていく予定。 令和6年度の取り組み方針については、①②を継続し、新規として災害時の対応について掘り下げて協議していく。 【部会長】研修会には北山氏の作った資料で身近に感じてもらったが、北山氏だけをお願いしていくのもどうかと思う。ベースは北山氏の流れだが、他の方に体験談でもいいのでお願いしたい。 【長谷川氏】ベースはいいと思うが、そのエリアで暮らす方の話はどうか。 【石森氏】地域の方と繋がっていないので、研修等には協力したい。 【宮永氏】避難支援を出していても、民生委員から話がない。民生委員と要支援の方とのコミュニケーションを取る方法をしっかりとしないと、大震災時に声掛けがないとかの可能性になってしまう。我々の会も民生委員や自治会に依頼しよう、一人で悩まずにと言っていきたいし、このような事も併せて話すといいのでは。 【丸山氏】地震の時には要支援者の方には電話や訪問はしているが、普段から繋		
意見等			

がりがある方が多く、今後の課題かと思う。避難行動については自治会、自主防災組織の協力、近所の協力もいる事なので今後の課題かと思う。

【部会長】防災に関しては事業所が地域までは行けないので、自治会や民生委員の方で話し合っていていただきたい。研修会で民生委員の方は色々な事をしていると理解したが、今回の研修は入り口ではある。

【長谷川氏】相談員としては地域に繋がっているのか、困った時に声をかけるようにという関係も大事。家族も当事者の方も、防災訓練に出て行く。地域の方に頼るだけではない意識も持っていけばいいのかと思う。

【北川氏】地域の方の「障がいの理解促進」も大切だが、家族が外との付き合いを拒否されて限界になるケースも多い。当事者や家族が地域に繋がることが大切だという事の両面のアプローチも大切かと思う。

【稲木氏】精神疾患の方がいて、地域では把握されていない。近隣の小学生に問題があって発覚し、うまくサービスに繋げていくのは難しい事を体験したので、掘り起こしが出来るといいのではと思った。

【山越氏】足腰が弱く一人では歩行できない人が歩く。家族の協力は必要だが、その姿を見て感動した。地域の方は決められた近くの高台に避難したが、一人暮らしの寝たきりの人がどうしても行かないというので置いて行ったが今回は無事だった。能登半島とよく似て海岸にそって道路があるので勉強になった。

【竹澤氏】研修はこのような形で進めて行けばいいかと思う。事例の方は自分で積極的にやれる方だと思う。地域に出るのを躊躇う人と繋がるのを恐れている人との関りを民生委員の方も問われているかと思う。そういった方の存在と関わり方も入れて欲しい。研修は民生委員の方の不安を取り除けると思う。高齢者との関りについては、民生委員はケア会議に出席する事が多いと思う。障がい者の会議に参加する機会はないので、どのような障がいの方がいるかを把握しにくい。本人の了解は必要だが、担当学会議に民生委員も入る事を考えてもいいのでは。

【大角氏】民生委員の方が入る会議は一桁パーセントで、あるかないかの程度。

【部会長】今後の研修の方向性とか来年度も実施していく事には概ね良いということで、当事者とか、ためらっている方達のエッセンスを入れて進めていく事でよろしいか。

【北山氏】補足だが、追加した資料が配られていないが、シートごとに話した内容をまとめてある。ホームヘルパー派遣なので距離的に近いと思う。民生委員の方とリンクするところがある。

【高田議員】※傍聴者

自治会に入っていない方がいるという話があったが、まず自治会に入っていないと町内会の会長にも、隣近所との繋がりもないので、相談があった方にはま

<p>説明</p> <p>意見等</p>	<p>ず、自治会に入って貰いたい。自治会の力を借りるという事でお願いしたい。</p> <p>【吉田氏】民生委員に直接理解を深めて貰うという取り組みはいいと思う。センターからの立場で言うと、障がい者の方の社会参加が進まないと地域理解は深まっていけないのでは。教科書的な話だけでは、実感を伴った理解にはいけないのでは。センターの立場では社会参加の機会に取り組んでいる所。</p> <p>3. 協議事項</p> <p>来年度の取り組み内容について；資料2－1</p> <p>【障がい福祉課吉田氏】障がい福祉人材の育成・確保についての協議は不足しているが、福祉に興味を持ってもらえるような取り組みを検討して欲しい。実施に向けてはWGメンバーで協議していく。メンバーについては、研修部会以外のメンバーの中から選出する事でお願いしたい。</p> <p>【部会長】障がい者の方が出て来てお互いに触れあって、こういう関りがいいね、という体験をしてもらいたい。ボッチャ大会とかやってみたい。</p> <p>【磯崎氏】内容はワーキングでの協議かと思う。</p> <p>【石森氏】PRが大事かと思う。</p> <p>【竹澤氏】このテーマを居宅生活支援部会でやっていくのは違和感があると発言したと思う。イベントについては、地域理解促進として交流する場として数多くしていくという意見をしてきた。人材不足は不足だが、一つの部会で取り組んでいく事には疑問がある。この部会で取り組むなら、<u>育成なのか、確保なのか</u>によっても取り組みは変わって来る。もう少しテーマを絞るとか。通所の事業所のスタッフ不足についてどう取り組んでいくのか。『福祉は人手が足りないね』ではぼんやりとしている。地域ではサービスを受けられない当事者をどうするのかを明確に話をしていかないと居宅生活支援部会ではやる意味がないと思っている。</p> <p>【部会長】確かにそのような意見があった。相談で当事者のアンケートをとると聞いていたので、それを受けてから課題を分析しようという事になった。実際に掘り下げたアンケートではなかった。11月にアンケートを待っていたら自分たちが求めていたものではなかった。このテーマは部会では何もできなかったのが実情だった。来年度の予定では、イベントは入っているが如何が。</p> <p>【北山氏】強度行動障害から始まったのではないかと思う。サービスを利用する人に改めて聞くのも一つか。</p> <p>【大角氏】ぼやけているので、部会として色を出した方がいいと思う。福祉のアピール等は色々な団体がやっているにもかかわらず、うまくいかないのはなぜか。その精査も必要。確保か、育成か。現在働いている人の育成も大切なのではと思う。</p>
----------------------	--

【部会長】強度行動障害の研修を3年し、働く人の研修もしてきたが、自立支援協議会でやりましょうということで、ここから巣立った形。育成をするのか、確保をするのか、当事者のアンケートで欲しいサービスを掘り起こすのか。

【竹澤氏】当事者にどのようなサービスが不足しているのか、事業所はどんな人材が不足しているのか、意見交換して協議していきたい。居宅でヘルパー派遣をしているが、充分ではない。別事業所で時間を振り分けられないか、介護職の人材バンクみたいなものが作れるのか作られないのか。制度的に配置基準の緩和とかを福井市の独自の制度として取り組めないかとか、考えていければと思う。厚労省はその地域に応じた包括的なサービスガイドラインと言うを出しているので無理ではないのではと思っている。一部会では難しいので自立支援協議会で取り組んでいけたらと思う。

【磯崎氏】居宅部会をどうするかと考えた時、アンケートで、「どういうサービスに人材が不足しているか、人はいるけれどスキルが足りない状態なのか、相談員は足りているが実際の現場の職員が足りないのか、ヘルパーが足りないのか」をきちんと整理をして、福井市の足りないところを確認する。地域で生活するという視点で居宅部会がアンケートを捉えることが出来るのでは。

【出店氏】学校との教育が切り離せない。進路指導が行われているが、意見交換などして推進して欲しい。

【部会長】ワーキングチームを作りたいと思っている。地域移行促進ワークに入っていないメンバーの方に入ってもらって、やりたいと思っている。そのメンバーで人材確保にするのか、育成にするのかも協議して欲しい。また、希望があれば入って頂きたい。望むサービスがあって地域で暮らせるようにしていきたい。

【黒田氏】絞り込みと、どこにフォーカスするかを協議するということか。

【出店氏】大地震で災害があった時に避難場にどんな避難をしたのか、検証というか分析をして欲しい。実態を知りたい。問題点が浮上してくると、対応策も話せるかと思う。

【部会長】事業所の不安とかのアンケートとしてみるか。

【大角氏】身障1級の人、医療的なケアが必要な人からまずはやろうということがスタート。相談員としては避難計画だが、まだままだの段階。

【磯崎氏】町内会の会長が避難計画をたてるからということで、視覚障がい者の方の避難計画について話があったというのを聞いた。相談員に頼まれる場合と、町内会で動くところもある。自分の担当の方は民生委員に分かるからほぼ嫌と言う。災害時に関しては居宅部会では大きいので、町内の課題かと思う。

